

提言の全体構成

小中学校の教員の多忙化問題改善のための提言を報告としてまとめるにあたって、以下のように構成した。

最初に、検討委員会でとりまとめた提言を一覧できるよう「各小・中学校で取り組んで欲しいこと」と「市町村・県教育委員会で取り組んで欲しいこと」に分けて掲げた。

次に、勤務実態調査で明らかになった「現状 - 多忙化問題の実態」と検討委員会の中で明らかになった「多忙化の原因・背景にあるもの」を掲載している。

その後に、実態と原因・背景を踏まえて、検討した多忙化問題の改善に向けた提言を「各小・中学校で取り組んで欲しいこと」、「市町村・県教育委員会で取り組んで欲しいこと」の順に、それぞれ6つの観点から整理をし、説明をつけて掲載している。

最後に、「今後に向けて」として、小・中学校の教員が心身ともに健康で、児童生徒と向き合う時間を生み出し、教育活動がさらに充実していくことを願い、今後、この提言が、各小・中学校、そして市町村・県教育委員会で、主体的、継続的に取り組まれることへの期待を述べている。

なお、参考資料として、平成18年に実施した勤務実態調査の分析結果、調査で寄せられた学校現場からの多忙化問題改善への提言、提言にかかわる関係通知を掲載しているの参考にして頂きたい。